

斎藤茂吉記念館 年報

通巻第37号
2021(令和3)年度



公益財団法人

斎藤茂吉記念館

目 次

はじめに	1
1. 沿 革	2
2. 1年のあゆみ	5
3. 展 示	5
4. 資料収集・管理	7
5. 協力事業	8
6. 出 版	9
7. 普及活動	9
8. 顕彰事業	11
9. 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)	13
10. 会議・役員・職員	14
11. 入館者状況	17
12. 決算報告(貸借対照表)	18
※ 資 料	19
1. 新規資料一覧	19
2. 新規図書一覧	20

は じ め に

この度、令和3年度の年報・通巻第37号をお届けいたします。

皆様には、平素より当財団の事業、運営につきまして、特段のご理解とご支援を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

本誌は、斎藤茂吉記念館の令和3年(2021)4月から同4年(2022)3月までの令和3年度内におきます事業概要等を掲載しております。

令和3年度は、前年度と同様、新型コロナウイルス感染防止対策、対応等に迫られた厳しい一年でありました。

斎藤茂吉記念全国大会、茂吉忌合同歌会などの顕彰事業は、墓前行事のみとし表彰式や歌会を中止するなど規模を縮小、講座事業の一環として近年継続的に開催している定例歌会は、紙上歌会として開催せざるを得なかったなど、予定していた事業を計画どおり実施することができなかったことは大変悔やまれるところです。

そうした状況のもと、斎藤茂吉に関する情報公開、資料収集、展示活動については、新たに茂吉の次男宗吉(北 杜夫)氏旧蔵の茂吉の遺骨を保管していた仏壇、骨箱等の展示、島崎藤村から茂吉宛の書簡や茂吉が朱書き校正した島木赤彦の原稿等の収集、茂吉を日記に基づき探求、紹介するための特別展「日記と歌で迎える斎藤茂吉の素顔」の開催など、常設展示内容の整備拡充、重要な資料の収集に務めたほか、初めての試みとして動画配信による斎藤茂吉記念館オンラインツアーを行いました。

茂吉及び短歌の普及事業として取組んでいる斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールは、作品を投稿しやすいように応募要領等を改善しました。

法人運営につきましては、当財団の運営に寄与されている関係者、関係団体に交付している優待券を更新、公益目的事業全般の充実をサポートしていただくための友の会事業の推進、防災設備の更新、空気清浄機の導入など館内施設、設備の整備拡充などに努めました。

また、新型コロナウイルス対策として受付に非接触型体温測定器、アルコール電動消毒器、飛沫防止アクリル板等を設置しました。

来館者は、前年度より466人増加して3,923人となりましたが、コロナ禍前の来館者と比較すると半数にも満たない結果となり、今後も皆様からの暖かいご支援とご理解を得ながら、偉大な歌人斎藤茂吉に関する作品、資料等の収蔵、展示、短歌の普及拡大を目的とした事業などに積極的に取組んで参りたいと考えております

以上、当該年度の事業概要の報告と日頃からのご協力に感謝申し上げ、年報刊行にあたりましてのご挨拶といたします。

令和4年12月

公益財団法人 斎藤茂吉記念館
代表理事 清 野 伸 昭

1. 沿革

昭和

41. 8. 28	斎藤茂吉記念館起工式
42. 11. 3	斎藤茂吉記念館竣工式
43. 9. 1	上山市立斎藤茂吉記念館開館
50. 5. 14	第1回斎藤茂吉追慕全国短歌大会(昭和53年から改称、平成12年から斎藤茂吉記念全国大会として継続)
51. 8. 12	茂吉短歌ポスト設置
53. 10.	収蔵庫増築
54. 3. 25	斎藤家の箱根強羅別荘離れ(勉強部屋)の移築工事竣工
55. 10. 31	同上屋工事竣工
56. 3. 20	斎藤茂吉胸像建立(制作:桜井祐一)5月13日除幕
10. 1	斎藤茂吉生誕100年記念として記念館無料開館(57. 5. 31まで)
11. 30	ボイラー暖房を電気暖房に切替
57. 3. 5	生誕100年記念斎藤茂吉展(東京都新宿区 小田急百貨店) ～3. 10
5. 13	生誕100年記念斎藤茂吉追慕全国大会を山形県民会館にて開催(山形県・上山市共催) ～5. 15 御幸公園内南側園地に歌碑(伊藤左千夫・島木赤彦・斎藤茂吉)を建立
9. 23	生誕100年記念斎藤茂吉展(滋賀県大津市 西武百貨店) ～10. 11
58. 4. 14	財団法人斎藤茂吉記念館設立発起人会開催
4. 30	財団法人の基本財産として上山市出捐 ・不動産:(1)斎藤茂吉記念館 (2)箱根山荘の勉強部屋 (3)同上屋 ・動 産:(1)現金10,000,000円
5. 23	財団法人斎藤茂吉記念館設立許可
5. 31	財団法人設立登記完了
8. 1	建物所有権移転登記上山市より財団への引継ぎ事務を完了
59. 7. 8	開館以来入館者累計40万人
60. 10. 11	守谷誠二郎理事死去その遺産(東京都港区南青山三丁目435番地所在不動産等)は公正証書による遺言によって財団法人斎藤茂吉記念館が受遺者となる
11. 15	守谷誠二郎氏遺贈財産(不動産)移転登記完了
62. 6. 15	改修・増築設計監理委託契約締結(株式会社谷口建築設計研究所)
11. 1	改修・増築に伴う展示設計監理委託契約締結(株式会社環境設計組織)
63. 3. 25	改修・増築工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)
4. 1	基金1,500,000,000円追加、計1,510,000,000円とする
4. 5	改修・増築工事起工式
6. 20	展示用映像ソフト制作委託契約締結(株式会社学習研究社映像ソフト局)
11. 14	改修工事のため休館 ～平成元. 7. 31

昭和	
63. 12. 22	展示ケース工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)
12. 24	展示関係工事請負契約締結 (1) 情報装置工事(株式会社乃村工藝社) (2) 装飾造型工事(株式会社環境設計組織) (3) 映像音響装置工事(株式会社学習研究社映像ソフト局)
平成	
元. 4. 25	みゆき公園園路跨線橋新設事業協定 同事業完了(2. 10. 31 上山市)
7. 15	改修・増築工事竣工
8. 1	改修・増築工事竣工式、同祝賀会・開館
12. 14	駐車場入口の土地建物買収登記完了(9. 14 売買契約)
2. 8. 10	園路改修工事(株式会社竹中工務店東北支店)
3. 12. 18	アプローチ整備工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)
4. 5. 1	ロゴタイプ・シンボルマークのデザイン、看板のサインデザイン等の設計委託 (株式会社谷口建築設計研究所)
7. 1	山形新幹線の開通に伴い「北上ノ山駅」を「茂吉記念館前駅」に改称
8. 10	身体障害者用通路敷石工事(柏倉石材工業株式会社)
9. 19	ロードサイン工事(株式会社甲子)
9. 21	集会室展示用パネル設置工事(株式会社ノールインターナショナルジャパン)
6. 9. 20	開館以来入館者累計100万人
7. 2. 15	勉強部屋上屋改修工事(株式会社竹中工務店東北支店)
5. 31	国道13号案内標識板設置に係る斎藤茂吉記念館の表示設置
10. 7. 3	建物改修工事(屋根瓦・外壁・軒天井等) ～7. 31
12. 4	上山農業高校跡地フェンス設置工事(県道側) ～12. 22
11. 5. 6	駐車場自動販売機置場設置工事 ～6. 4 進入路改良工事(県道入口・跨線橋入口) ～6. 10
8. 24	記念館排水枡嵩上改良工事 ～9. 6
12. 10. 6	ドナウエッシンゲン市に斎藤茂吉歌碑建立(国外建立歌碑第1号/上山市)
14. 2. 24	斎藤茂吉没後50年 第35回記念茂吉忌合同歌会を共催で執行(寺行事:宝泉寺)
7. 1	記念館建物等の改修工事(屋根瓦・軒天井等外壁・消防用設備・誘導案内板等) ～ 15. 3. 5
10. 1	上山市より駐車場等の土地の譲受け登記完了(平成14年9月5日譲受け)
12. 19	斎藤茂吉没後50周年記念実行委員会設立、構成団体として参画、事業の実施
15. 7. 7	記念館建物等の改修工事(駐車場区画線・ラウンジ鉄骨塗装・ラウンジ軒天井・ 空調機・浄化槽エアポンプ・案内看板等) ～16. 3. 29
9. 10	斎藤茂吉没後50周年記念事業「斎藤茂吉晩年の居室(終焉の間)」復元・関連展示施設 「茂吉とその家族たち」設置 ～15. 9. 30(集会室内) 15. 10. 11完成

平成	
16. 7. 5	記念館建物等の改修工事(館内設置空調機・電気設備「受電施設」・事務室隣接ドライエリア部床・収蔵庫内湿度調節設備等) ～16. 11. 5
8. 18	記念館倉庫建設工事 ～16. 9. 24(工事目的物引渡日16. 9. 29)
10. 30	2004最上川さくら回廊事業植栽式(染井吉野桜20本・枝垂桜30本植栽)
18. 6. 16	運営改善推進計画策定委員会設置・要綱の施行
19. 2. 15	主要地方道「山形上山線」整備に伴う新規案内標識3基設置・既存案内板2基の内容変更工事 ～3. 15
11. 14	運営改善推進計画を承認
20. 4. 1	入館料金改定(大人個人・同団体料金、団体適用人数、身体障害者割引新設)
4. 26	展示等音声解説機器(音声ガイドシステム)の導入運用
22. 4. 1	映像ソフトの制作(既存ソフトをデジタルハイビジョン化)
23. 3. 11	午後2時46分 東日本大震災発生(M9. 0) 岩手・宮城・福島県沿岸部に大規模な津波により甚大な被害発生 福島第1原子力発電所の事故重なる 館内停電、翌日午後復旧、震災による直接の被害なし
3. 12	大震災により10日間(3. 12・3. 23～31)臨時休館
3. 24	主要地方道山形上山線改良に伴う案内表示板取外し解体撤去工事(弁天交差点)
24. 4. 1	公益財団法人登記、公益財団法人斎藤茂吉記念館となる 同時に特例民法法人(財団法人斎藤茂吉記念館)解散登記を行う
25. 5. 26	『赤光』発刊100年記念全国短歌コンクール表彰式・記念シンポジウム
7. 23	上山市内断水 ～24(影響微小)
8. 21	排水管改良(修繕)工事・雑水槽不具合箇所確認作業
26. 7. 6	集会室「茂吉晩年の居室」展示設備什器修繕 ～7. 12
27. 5. 1	AED(自動対外式除細動器)の館内設置
12. 5	館内空気調和設備改修設置工事(臨時休館12. 5～12. 18)
29. 9. 1	斎藤茂吉記念館建物等改修工事期間中における休館～次年度(30. 4. 26)
30. 3. 27	斎藤茂吉記念館リニューアル工事完成(検査)・3. 28(現場確認)
4. 26	斎藤茂吉記念館リニューアル内覧会
4. 27	斎藤茂吉記念館リニューアルオープニングセレモニー(斎藤茂吉記念館玄関入口) ・リニューアル工事竣工祝賀会(日本の宿 古窯)
8. 24	斎藤茂吉記念館リニューアル工事竣工後3ヵ月点検
9. 1	斎藤茂吉記念館開館50周年記念祝賀会(日本の宿 古窯)
令和	
元. 5. 23	リニューアル施工業者による建物・設備等の1年点検と補修工事の実施
8. 3	三笠宮寛仁親王長女・彬子女王殿下館内御視察
2. 4. 3	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館の実施 ～4. 15(延長4. 16～5. 6 ・再延長5. 7～5. 31)
12. 22	斎藤茂吉遺骨供養・安置並びに仏壇撥遣式(魂抜き)の実施(宝泉寺)

2. 1年のあゆみ

令和

3. 4. 1	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(基本財産の変更)に係る変更届の提出
4. 2	職員(事務局長)の任命辞令発令・職員(業務係主事兼学芸員・学芸員)の昇給辞令発令・嘱託職員(専門員)2名の任命辞令発令
5. 27	令和2年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の实地検査(検査員：山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課職員2名)
6. 1	令和2年度業務執行監査(館内館長室 監事2名)
6. 1	キャッシュレス決済(PayPay)運用開始(「がんばろう上山キャンペーン」加盟) ～7. 31
6. 11	第34回理事会(館内集会室)
6. 22	第28回評議員会(上山市役所政策会議室)
6. 29	役員(評議員2名)の変更登記
7. 4	管理規則第3条の規定に基づく休館(7日間) ～7. 10
7. 20	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に掲げる変更(役員の変更／評議員)に係る届出書の提出
7. 20	第35回理事会(書面決議)
8. 4	第29回評議員会(書面決議)
10. 8	第36回理事会(館内集会室)
10. 29	第30回評議員会(上山市役所政策会議室)
11. 5	役員(評議員1名)の変更登記
11. 19	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に掲げる変更(役員の変更／評議員)に係る届出書の提出
11. 19	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産の件数変更)に係る提出書の提出
4. 3. 8	第37回理事会(館内集会室)
3. 25	第31回評議員会(上山市役所政策会議室)
3. 31	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく事業計画等(令和4年度事業計画書・収支予算書等)に係る提出書の提出

3. 展 示

◎常設展示／常設設置

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸・文化の発展に寄与するための館内展示内容・設備の拡充とともに、より深い理解を得るための情報提供として解説機器類の継続設置を行った。

○常設展示 - 地階：常設展示室「茂吉の世界とその作品」

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品など」展示のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板の活用とともに、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子を、ジオラマ等により紹介することを主軸とする展示構成とした。

＊茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出)＊茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと／デジタル画像等展示)＊茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期)○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭／生家周辺古地図)＊茂吉の生涯(ジオラマ解説：2点)＊茂吉の作歌姿勢＊医学者茂吉(ジオラマ解説)＊茂吉の書画＊茂吉の業績＊茂吉の交遊＊茂吉の著書＊茂吉の肖像他

○常設映像展示 - 地階：映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し館内常設展示資料等を補足するためのデジタルハイビジョン静止画映像を定時的に上映(約18分間)するとともに、「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」の解説資料を作成し、展示室内に配置(常時配布)した。

○常設展示 - 1階：集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し、関連資料の展示を実施した。また、2番組の選択上映の映像展示「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」と、情報検索装置「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」の継続設置による情報提供等を行った。さらに、新たな展示として、斎藤茂吉の次男宗吉(北杜夫)氏旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨箱類(生家菩提寺にて供養済)を、特別展開催前の令和3年4月21日に展示設備の改装(展示ケース改修・修繕)を行ったうえで公開した。



茂吉遺骨保管のための仏壇・骨箱等の展示
(集会室内展示ケース改修・修繕後)

○常設展示 - 1階：展示室入口通路周辺「茂吉の人となり」「短歌とは/短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ：斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史／年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史／近代短歌の系譜)、追加グラフィックパネルとして斎藤茂吉歌碑(全国・県内の歌碑分布図・建立数)の継続掲示、壁面メッシュパネルにおける斎藤茂吉短歌文学賞(事業概要・各回受賞者)と斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(事業概要・最新の最優秀賞受賞作品6首ほか、新たに優秀賞作品50首、入選作品全200首を追加)の掲示を行った。

○常設設置 - 1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(自立ポスト)、茂吉自作短歌朗詠機器を継続的に設置した。

○常設展示 - 別棟(みゆき公園内)：「箱根山荘の勉強部屋」

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に避暑・原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の継続設置(上屋内)に伴い、人感センサーによる自動音声解説装置(照明連動・グラフィック展示)を継続的に設置した。

○常設設置 - 「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備の有料貸出を行った。また、既存の日本語解説(15台)に新設の英語訳解説(5台)を加え、計20台の稼働を確保した。さらに、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。
令和3年度貸出利用台数：74台

◎ 特別展／企画展示

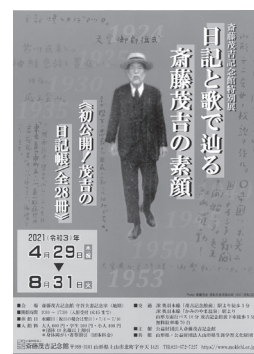
斎藤茂吉記念館を周知するとともに館内常設展示資料の補足と斎藤茂吉の魅力・作品などに関して、幅広い年齢層から理解を得るための特別展を、年度内において2回開催した。さらに、関連印刷物として目録を兼ねたチラシとポスターを作成し、関係者・団体等に配布し本展の広報に努めた。

○特別展 - 地階：守谷夫妻記念室 「日記と歌で辿る斎藤茂吉の素顔」《初公開！茂吉の日記帳／全28冊》

常設展示室内展示資料に関連しながら茂吉をより深く知るための特別展として、前年度における新規収蔵品のうち、斎藤茂吉自身の日記帳について、その全冊(28冊／大正13年～昭和27年まで)を公開し、当時の心情、生活の様子、作歌に至る経緯など、激動の時代を過ごした茂吉を日記に基づき探求、紹介するため開催した。展示資料としては茂吉の日記帳のほか、その関連箇所(時代)に沿った茂吉の手帳、墨書作品(半切・色紙・短冊等)、原稿、書簡、写真、解説パネル等による日記の概要紹介等も合わせて展示した。また、特別展開催前の令和3年4月23日に、斎藤茂吉の日記全冊の一般公開に伴う事前公表(記者発表)を集会室において行うとともに、テレビコマーシャル、マスコミ各社に対する投稿、Webサイト上におけるPRを展開した。

※展示資料点数：59点(解説パネル等を含む)

※会期：令和3年4月29日(木/祝日)から同年8月31日(火)まで「102日間」



特別展「日記と歌で辿る斎藤茂吉の素顔」チラシ・ポスター

○特別展 - 地階：守谷夫妻記念室 「新収蔵資料展」

平成31・令和元・同2年度に収蔵した比較的新しい斎藤茂吉とその関連作品・資料を中心に実施した。主要展示資料としては、北家(茂吉の次男宗吉／北杜夫氏)旧蔵品、森山汀川遺族寄贈品類を中心に、墨書作品等と解説パネルにより構成・展示を行った。

※展示資料点数：42点(解説パネル等を含む)

※会期：令和3年9月19日(日)から同4年3月31日(木)まで「160日間」



特別展「新収蔵資料展」チラシ・ポスター

4. 資料収集・管理

◎ 資料収集

斎藤茂吉を中心とした作品・資料などの収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための詳細調査と整理を行った。

令和2年度・令和3年度/新規				
*基本財産収蔵品(A評価資料)	2,465点：	2,456点	+	9点
*その他の収蔵資料(B評価・C評価無資料)	3,886点：	3,848点	+	38点
*除外資料(工事用記録映像・一般歌集・図書等)	4,084点：	(3,953点	+	*131点)
*新規除外資料(図書資料のみ)	123点：	(*131点)		123点
合計	10,558点：	10,388点	+	170点

* 寄託品資料《個人短期:964点/個人長期:171点/上山市:2,208点/山形県:1点》

	合計	3,344点
収蔵資料数	総計	13,732点

5. 協力事業

◎ 資料貸出・撮影・掲載に関する協力

各種団体の文化活動に対する調査、資料提供などの協力を行った。

○関連団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

* 写真資料の貸与及び印刷物等の掲載の承認 申請許可件数：19件／点数：65点

* 資料撮影(館内撮影)・転載(掲載)の承認 申請許可件数：3件／点数：24点

◎ 各種団体の文化活動に対する協力

○外部団体(個人)の依頼による斎藤茂吉等関連の調査等の協力

* 資料持ち込みによる内容調査(年度内随時)の実施

* 個人・団体発行の冊子・広報紙等に対する執筆及び情報・資料等の提供

* 斎藤茂吉歌碑建立に伴う情報提供と資料調査の実施

○各種団体の文化活動等に対する協力

* 第6回U-39やましん紙上歌会

山形新聞社が30代以下を対象に開催しているU-39山新紙上歌会は、令和3年4月15日から同年9月15日まで短歌作品を募集して、小、中、高校生、一般の4部門別の表彰を行っており後援団体として協力した。

* 斎藤茂吉記念第28回中川町短歌フェスティバル

北海道中川郡中川町教育委員会が主催する短歌フェスティバルは、令和3年6月1日から同年7月20日まで短歌作品を募集して、小・中、高校生、一般の3部門別の表彰と作品集の発行を行っており後援団体として協力した。

* やまがた文化応援キャンペーン

昨年度から継続的に山形県及び山形県芸術文化協会が主催し実施している入館料金割引(割引分補填)のキャンペーンとして、山形県民限定として令和3年8月1日から同4年2月28日までの期間における入館料割引制度に参加し入館受付時に対応・協力した。

* かみのやま温泉かかし展示9days

上山市内小・中学校応募短歌作品の選歌等に協力(展示期間：令和3年9月4日から同月12日まで)を行った。

* 上げ！写生道 短歌と日本画スペシャルフュージョン

東北芸術工科大学美術科日本画コース3名による展覧会(日本画・短歌作品)の開催に伴い、令和3年10月18日から同月26日までの会期中、展示会場として斎藤茂吉記念館ラウンジの貸出等の協力を行った。

* 日本博物館協会東北支部協議会

令和3年度の協議会総会において、秋葉四郎館長が監事に就任・出席(宮城県多賀城市・東北歴史博物館／令和3年11月25日)して業務協力を行った。

* かみのやま博物館連絡会(上山市内の博物館3館：上山城・蟹仙洞・斎藤茂吉記念館)

上山市内博物館3館が、上山市・同教育委員会・上山市観光物産協会・明日のそばを語る会から支援・後援・広告協賛を受け、共同印刷物として作成した「かみのやまウェルカムパスポート」を継続運用した。(令和元年10月1日から運用、有効期限は発行から2年間)

6. 出版

○「斎藤茂吉記念歌集」第47集

第47回斎藤茂吉記念全国大会事業の関連出版物として、一般投稿作品と児童・生徒秀歌作品を収載し、斎藤茂吉生誕日である令和3年5月14日付で発行した。

※A5判127頁 一般作品：586首(人)・児童・生徒秀歌作品(第18回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品)：200首、計786首収載

○「2020(令和2)年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第36号」(2020/4～2021/3)

公益財団法人斎藤茂吉記念館の令和元年度活動状況などを取りまとめた。主な内容は、1年のあゆみ・諸事業実績・法人運営・入館者状況・決算報告・新規資料一覧など。

※A4判26頁(令和3年12月15日発行)

○館報「茂吉記念館だより第24号」

斎藤茂吉に関する調査研究・啓発等のため、通常年1回を目処として継続的に刊行している館報は、3氏による外部寄稿・館長随筆・定例歌会概要・収蔵資料紹介・短信(掲示板)などを主な内容とした。

※A4判12頁(令和3年12月15日発行)

○令和3年度第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集「桜実 Sakurago」

山形県・上山市・上山市教育委員会と共催事業として実施した斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール事業の一環として、令和3年度第19回入選作品集「桜実Sakurago」を発行した。入選作品200首(優秀作品・最優秀作品を含む)のほか選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことばなどを収載し、県内市町村教育委員会、応募協力学校(小・中・高校)、図書館などに配布した。

※A5判54頁(令和4年3月15日発行)



令和3年度第19回入選作品集「桜実」

7. 普及活動

◎斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

児童・生徒が、短歌づくりに親しみ、生まれ育った地域を再認識、再発見するとともに、美しい日本語を見直すことで、国語力の向上を通じた文化の創造と振興を図るため、児童・生徒を対象に山形県・上山市・上山市教育委員会とともに主催し実施した。

○令和2年度第18回(前年度)応募作品における最優秀賞作品・優秀賞作品の賞状授与

入選作品集「桜実」と、関係機関・報道等において発表した最優秀作品(小・中・高校の各部門2首/計6作品)の表彰式が、第47回斎藤茂吉記念全国大会の中止に伴い取りやめとなったため、受賞者各校に賞状(最優秀賞のみ副賞有)授与(令和3年5月16日付)し、県外受賞校(者)には郵送をした。

○令和3年度第19回短歌作品募集と選考(作品選考)

＊小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定・作品募集を実施した。

※応募要項・応募用紙記載のチラシ作成/学校・短歌団体単位の応募：1人1首

※募集期間：令和3年11月12日から同4年1月14日まで

※全応募数：11,079首(県内6,380首・県外4,699首)/応募学校数143校(県内72校・県外71校)



令和3年度第19回作品募集チラシ

＊選考委員による作品選考

※第1次審査「200首選考」令和4年1月21日

※第2次審査「60首選考/重複選考により52首」令和4年2月11日

※最終選考「6首/小・中・高校各2首」令和4年2月19日(ウェブ会議)

＊最終選考会後に最優秀賞を発表、関係機関・報道等に通知

＊第1次選考選者：山形県内在住の歌人12氏(山形県歌人クラブ会員)

＊第2次・最終選考選者：県内外著名歌人：大瀧 保・栗木京子・田村 元の3氏

○最優秀賞の表彰式

令和4年5月15日開催予定の生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会(令和4年度事業)において実施するものとし、合わせて優秀賞及び今回より新たに入選を含めた表彰(賞状の授与)に伴う準備を行った。

※最優秀賞・優秀賞・入選の各賞状：令和4年5月15日付

○最優秀・優秀・入選作品の掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー)

令和2年度第18回の最優秀作品(小・中・高校各2首/計6首)のほか、新たに優秀作品(50首)と入選作品(200首)を加え、斎藤茂吉記念館内1階壁面において掲示した。

◎茂吉短歌ポスト

短歌の普及拡大と啓発のため、広く短歌作品を募集し選歌・作品集刊行のための準備等を行う通年実施の事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の配布、投稿作品の選歌(県内主要歌人による選歌「入選3首・佳作5首」)と入選者公表を実施した。また、選歌のための選者は、県内主要歌人の大瀧保・早坂富美子の2氏に依頼した。

＊50首程度を目処に選歌を依頼し、年度内2回実施した。各回毎、入選・佳作には賞状を贈呈、選歌結果を斎藤茂吉記念館ホームページにおいて公表した。

※選歌(投稿)数：第131回(大瀧 保氏 選) 50首/入選3首・佳作5首

第132回(早坂富美子氏 選) 52首/入選3首・佳作5首

◎講座等事業

○第19回・第20回定例歌会

斎藤茂吉記念館諸事業の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、平成25年度から継続事業として行っている超結社の歌会形式による定例歌会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、第19回・第20回については集会的な歌会を取りやめ、紙上歌会として実施した。また、各回ともに参加者による投稿歌の互選・歌評と、講師による全作品を歌評する紙上歌会として案内・投稿チラシを作成し、これまで定例歌会に参加実績のある歌人等を対象に、案内チラシによる作品募集を行った。さらに、各回の紙上歌会実施に際して講師と参加者の歌評を掲載する「定例歌会《紙上歌会》作品集」を各回ごとに発行した。

＊第19回定例歌会(紙上歌会)

※募集期間：令和3年6月7日から同年6月25日まで/定員50人/参加費：無料

※講師：秋葉四郎館長(歌人・「歩道」発行人)

※作品一覧を参加者に郵送(返信葉書同封)し互選・歌評を依頼(締切：令和3年7月20日)

※参加(投稿)者数：56人(首)

※紙上歌会作品集の発行(互選結果・講師選歌公表)：令和3年8月10日

＊第20回定例歌会(紙上歌会)

※募集期間：令和3年10月16日から同年11月2日まで/定員50人/参加費：無料

※講師：秋葉四郎館長(歌人・「歩道」発行人)

※作品一覧を参加者に郵送(返信葉書同封)し互選・歌評を依頼(締切：令和3年12月3日)

※参加(投稿)者数：61人(首)

※紙上歌会作品集の発行(互選結果・講師選歌公表)：令和3年12月24日

○出前(出張)講座(講師派遣／職員)

＊山形市西部公民館主催の蔵王歌碑めぐり「蔵王・斎藤茂吉文学のみち」の案内と説明のための職員随行(実施日：令和3年9月28日／場所：山形市蔵王温泉周辺)

◎その他

○ホームページの開設(各種情報提供)

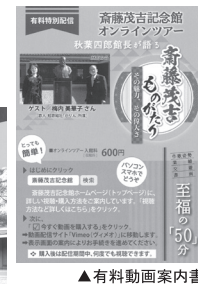
斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的として、公式ホームページを継続開設して定期的に情報更新を行った。(URL <https://www.mokichi.or.jp>)

○有料動画「斎藤茂吉ものがたり-その魅力、その偉大さ-」の有料配信

斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の普及と周知を図るため、館長と外部の著名歌人(梅内美華子氏)出演による記念館内外を巡る動画番組『斎藤茂吉記念館オンラインツアー／秋葉四郎館長が語る「斎藤茂吉ものがたり その魅力、その偉大さ」』を制作(50分間)して、令和3年8月2日から同年8月1日まで有料配信した。合わせて斎藤茂吉記念館ホームページにおいて、視聴方法・購入方法等の詳細を告知するとともに、案内書(葉書サイズ)を作成して関係者(団体)等に配布した。

○普及版パンフレット作成・配布

上山市内の宿泊者・飲食店利用者等を対象に、各旅館・各店舗内配置用の普及版パンフレットを作成(A4判三ッ折)し、配布した。次年度の年間イベントガイド(年間展示・行事スケジュール等)のほか、施設概要・展示内容、上山市内の詳細なマップ等を掲載した。(今後1年ごとに更新)



▲有料動画案内書

◀普及版パンフレット

8. 顕彰事業

◎斎藤茂吉記念全国大会

本県の生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の生誕を記念し、輝かしい業績の普及及び顕彰、さらに、地域文化の向上と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と同記念歌集の事業について取り組んだ。第47回全国大会は、令和3年5月16日(日)を開催日としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみ列席の墓前行事(金瓶宝泉寺)と斎藤茂吉記念歌集第47集発刊を除いて、斎藤茂吉記念全国大会諸行事(第32回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式・令和2年度第18回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀賞作品表彰式・講演会「ニュース映画を見る斎藤茂吉」・記念レセプション)を中止した。それに伴い斎藤茂吉記念全国大会の参加申込者と関係者に対し、令和3年4月14日付で中止する旨を書面にて通知した。さらに、次年度開催予定の同大会事業として生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会の事業計画策定及び参加・同歌集第48集投稿募集案内等を行った。

○第47回斎藤茂吉記念全国大会の一部開催

＊令和3年5月16日(日)：墓前行事・斎藤茂吉記念歌集第47集の献上・墓参(宝泉寺)の実施：関係者のみ列席(斎藤茂吉記念全国大会事業主催者・斎藤茂吉記念全国大会運営委員等)

○生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会事業の実施(同記念歌集第48集発刊)計画策定及び参加・投稿募集

＊運営委員会の開催(令和3年10月21日)斎藤茂吉記念館集会室：「生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会日程・同記念歌集第48集募集要項等について」「運営委員の委嘱状交付」委員(歌人)：大瀧保・鎌上純子・雁部貞夫(郵送)・布宮雅昭・皆川二郎の5氏

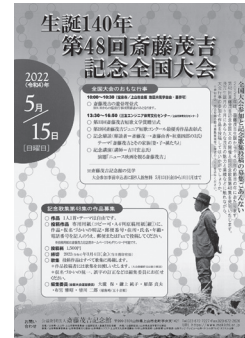
＊生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会参加と同記念歌集第48集投稿募集及び周知

※募集期間：令和3年11月から同4年3月4日(投稿募集)・同4年4月19日(大会参加募集)まで

＊生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会の実施内容(参加募集時)：令和4年5月15日(日)、墓前行事／宝泉寺：読経・焼香・記念歌集献上(関係者のみ)・斎藤茂吉の遺骨の埋骨式、記念行事／三友エンジニア体育文化センター(エコーホール)：第33回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式、第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式、記念鼎談「斎藤茂吉とその家族(妻・子・孫たち)」：斎藤茂一・斎藤由香・秋葉四郎の3氏、記念講演「ニュース映画を観る斎藤茂吉」：講師吉川宏志氏

※参加事前申込者に限り令和4年5月13日から同16日までの4日間、斎藤茂吉記念館の入館料を無料とした。

＊斎藤茂吉記念歌集第48集／1人1首(題：自由)・投稿作品はすべて記念歌集に掲載・投稿料：有料



第48回斎藤茂吉記念全国大会参加・記念歌集第48集投稿募集案内チラシ

◎斎藤茂吉短歌文学賞

斎藤茂吉の功績を記念し、短歌の分野において優れた業績をあげた者に贈られる斎藤茂吉短歌文学賞は、山形県と当財団が設置し、第32回の賞の贈呈と第33回の選考を行った。

＊運営委員長：山形県知事／同副委員長：公益財団法人斎藤茂吉記念館代表理事

＊第31回・第32回 選考委員長：永田和宏氏／同委員：小池光・小島ゆかり・三枝昂之の3氏

○第32回斎藤茂吉短歌文学賞

＊受賞者：大島史洋氏／作品：歌集『どんぐり』(現代短歌社刊)

○第33回斎藤茂吉短歌文学賞

＊受賞者：岡野弘彦氏／作品：『岡野弘彦全歌集』(青磁社刊)

◎第55回記念茂吉忌合同歌会

斎藤茂吉を顕彰するとともに県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を偲ぶ超結社の行事として、茂吉の命日に近い日曜を開催日に実施している歌会は、5回ごとの節目にあたる第55回の記念歌会として、令和4年2月20日(日)を開催日としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催3団体代表者による墓参(令和4年2月25日／金瓶宝泉寺)を除いて、歌会諸行事を中止した。歌会作品募集については、令和4年1月7日付締切で投稿募集(在宅参加の紙上歌会変更通知：同年1月17日)を行い、選者歌評集とともに招待作品と記念講演の予定であった雁部貞夫氏の講演録等を載せた記念作品集を発行した。

＊「第55回記念茂吉忌合同歌会《紙上歌会》歌評集」の発行：令和4年2月25日

※A4判28頁・投稿数：89首(人)

＊選者：井上菅子・大瀧保・布宮雅昭の3氏により歌評

＊「第55回記念茂吉忌合同歌会作品集」の発行：令和4年2月25日

※A5判30頁・投稿数：招待作品16首(1人2首)・一般作品89首(人)

- ※選者講評：井上菅子・大瀧保・布宮雅昭の3氏(各選者ごと特選1首・入選2首を選歌)
※記念講演録：雁部貞夫氏「茂吉の気になる歌二、三」

9. 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

◎斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営・事業の実施

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、斎藤茂吉記念館開館50周年を記念し平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、入会の勧誘・促進と周知等の事業運営を継続的に実施した。

◎斎藤茂吉記念館優待券の交付

斎藤茂吉記念館の公益的運営等を円滑に推進するため、関係団体・協力者等を対象として継続的に交付(令和元年度)している斎藤茂吉記念館優待券(無料入館)の有効期間内(令和3年度内)に更新交付をした。また、斎藤茂吉記念館に高く貢献(資料寄贈・寄託者)している個人・団体等を新たに対象に加えて交付した。

※交付対象(者・団体)：335件(交付期日：令和3年12月23日)

※有効期限：令和5年12月27日

◎斎藤茂吉の親族等に対する対応

*上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等の協力を行った。(宝泉寺・金瓶学校保存会の活動に対する協力等)

*前年度に茂吉の次男斎藤宗吉(北杜夫)氏の遺族から受領した斎藤茂吉の遺骨について、令和3年5月16日開催の第47回斎藤茂吉記念全国大会墓前行事の一環として予定していた「埋骨式」が中止となったことに伴い、次年度開催の生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会の墓前行事に移行し、再度斎藤家遺族、親族の参列を求め執り行う準備・対応を行った。

◎職員(嘱託)採用・試験の実施

*嘱託職員募集の実施(募集期間：令和3年8月24日から同年9月24日まで)

*採用試験(一般教養・特性検査・小論文・面接)の実施(令和3年10月3日／三友エンジニア体育文化センター内研修室) ※令和3年11月1日付辞令交付(1名)

*採用期間：令和3年11月1日から同4年10月31日

◎施設管理等の整備拡充事業

○管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活用

平成30年4月1日から改正施行した管理規則に基づく休館と、休館期間中を活用した諸業務を実施した。

*休館日：毎週水曜日・国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日(前記規定の休館日が重なる場合はその翌日)・12月28日から翌年1月3日まで・7月第2週の7日間

*7月の休館日「令和3年7月4日から同月10日まで」を利用した資料保全のための収蔵庫及び収蔵資料のくん蒸の実施と、職員の知識向上のための施設見学等の研修実施

※収蔵庫・収蔵資料のくん蒸：令和3年7月6日から同月8日まで(くん蒸業者に業務委託)

※職員研修：令和3年7月6日(蔵王方面／職員4名)

○斎藤茂吉記念館施設設備の管理

*受付前入口用非接触型体温測定器・アルコール電動消毒器各1台の設置(令和3年4月8日)

*受付カウンター・館長室応接セット用飛沫防止アクリル板の各1枚の設置(令和3年4月15日)

*別棟「箱根強羅の勉強部屋」上屋内照明(天井8台)のLED化実施(令和3年4月21日)

- * 館内映像展示室設置機器の遠隔操作板設置等(令和3年4月21日)
- * 玄関入口防犯カメラ1台設置(令和3年4月27日)
- * 駐車場周辺誘導案内板4基修繕・禁止看板2基設置(令和3年4月27日)
- * キャッシュレス決済運用に伴うタブレットパソコン1台設置(令和3年6月1日)
- * 館内展示室設置の移動式展示ケース7台(集会室：5台・守谷夫妻記念室：2台)と受付カウンター、ミュージアムショップの各照明設備のLED化(令和3年12月15日)
- * 空気清浄機(次亜塩素酸空間除菌脱臭機)2台・二酸化炭素濃度測定器2台設置(令和3年12月15日)
- * 自動火災報知設備受信機更新工事(令和3年12月16・17日)
 - ※令和3年10月1日指名競争入札／令和4年1月6日上山市消防署検査実施
- * 収蔵庫・常設展示室ハロン消火設備の容器更新工事(令和4年1月20日)
 - ※令和3年10月1日指名競争入札／令和4年1月26日上山市消防署検査実施
- * 館内エレベーター設備機器と周辺設備の利用案内と管理(定期点検)の通年実施
- * 多目的トイレの利用案内と管理の通年実施
- * その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理の通年実施

○斎藤茂吉記念館周辺の整備

- * 斎藤茂吉記念館駐車場周辺の整備開発等に伴う協力
 - ※みゆき公園橋梁(跨線橋)舗装改良工事に伴う協力
 - ※温泉健康施設建設に伴う用地処分等の協力

◎公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

- * 斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布：69種(有料)
- * 見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布：31種(有料)

10. 会議・役員・職員

◎理事会・評議員会の開催状況

○第34回理事会：令和3年6月11日(斎藤茂吉記念館集会室)

- * 承認事項
 - 承認第28号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和2年度事業報告、計算書類等について
- * 決議事項
 - 議第102号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第28回評議員会の招集決定について
 - ※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
 - (2)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和2年度資金運用状況報告について
- * 追加議案：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産(旧上山市温泉健康施設事業用地)の利活用事業計画について
 - 承認第29号：土地の売買等に関する覚書について
 - 議第103号：議第95号上山市温泉健康施設事業で掘削した温泉部分の土地に係る公益目的財産の一部処分決議の取消しについて
 - 議第104号：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産等の処分について

○第28回評議員会：令和3年6月22日(上山市役所政策会議室)

- * 承認事項
 - 承認第63号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和2年度計算書類等について
- * 決議事項
 - 議第55号：公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について
 - ※報告事項 (1)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和2年度事業報告について

(2)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況

(3)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和2年度資金運用状況報告について

＊追加議案：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産(旧上山市温泉健康施設事業用地)の
利活用事業計画について

承認第64号：土地の売買等に関する覚書について

議第56号：議第52号上山市温泉健康施設事業で掘削した温泉部分の土地に係る公益目的
財産の一部処分決議の取消しについて

議第57号：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産等の処分について

○第35回理事会：令和3年7月20日(書面決議)

議第105号：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産等の処分決議の一部変更について

議第106号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第29回評議員会の招集決定について

○第29回評議員会：令和3年8月4日(書面決議)

議第58号：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産等の処分決議の一部変更について

○第36回理事会：令和3年10月8日(斎藤茂吉記念館集会室)

＊決議事項

議第107号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度収支予算補正(第1回)について

議第108号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第30回評議員会の招集決定について

※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について

＊追加議案

議第109号：公益財団法人斎藤茂吉記念館公益目的財産等の処分決議の一部変更について

○第30回評議員会：令和3年10月29日(上山市役所政策会議室)

＊承認事項

承認第65号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度収支予算補正(第1回)について

＊決議事項

議第59号：公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について

議第60号：公益財団法人斎藤茂吉記念館管理規則の一部を改正する規則の制定について

議第61号：公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について

※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について

○第37回理事会：令和4年3月8日(斎藤茂吉記念館集会室)

＊承認事項

承認第30号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度資金運用計画について

承認第31号：基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外
について

＊決議事項

議第110号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度事業計画について

議第111号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度収支予算について

議第112号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第31回評議員会の招集決定について

※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況

○第31回評議員会：令和4年3月25日(上山市役所政策会議室)

＊承認事項

承認第66号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度資金運用計画について

承認第67号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度事業計画について

承認第68号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度収支予算について

＊決議事項

議第62号：基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について

議第63号：公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について

※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況

◎役員の就任状況(敬称略)

○理事

代表理事	清	野	伸	昭
理 事	晋	道	純	一
理 事	佐	藤	信	幸
理 事	平	井	康	博
理 事	五	十	嵐	庄
理 事	土	屋		講
業務執行理事	木	村	義	博

○監事

監 事	川	合	賢	助
監 事	井	上	真	一

○評議員

評 議 員	横	戸	長	兵 衛
評 議 員	大	沢	芳	朋 (令和3年6月22日辞任)
評 議 員	長	澤	長	右衛門 (令和3年6月22日就任)
評 議 員	古	山	茂	満 (令和3年10月29日辞任)
評 議 員	横	戸		隆 (令和3年10月29日就任)
評 議 員	大	瀧		保
評 議 員	佐	竹	瑞	夫 (令和3年6月22日辞任)
評 議 員	山	川	庸	久 (令和3年6月22日就任)
評 議 員	後	藤	恒	裕
評 議 員	松	本	佳	子

◎職員構成の状況

館長(事業等業務総括)	秋 葉 四 郎
事務局長(兼業務執行理事/管理運営事務総括)	木 村 義 博
業務係 主事兼学芸員	五十嵐 善 隆
業務係 学芸員	佐 藤 結 子
業務係 専門員(嘱託)	村 尾 二 朗
庶務係 専門員(嘱託)	遠 藤 星 子
庶務係 (嘱託)	佐 藤 康 平(令和3年11月1日辞令発令)

11. 入館者状況

◎月別入館者状況

(単位:人)

		令和3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	合 計
個 人	大 人	115	205	157	169	138	117	233	157	72	44	52	104	1,563
	学 生	4	9	3	7	12	9	13	5	1	1	7	11	82
	小 人	3	9	3	7	10	6		1	1	1	3	3	47
	計	122	223	163	183	160	132	246	163	74	46	62	118	1,692
団 体	大 人		76		17			25	104	85	22	26		355
	学 生				30									30
	小 人								48					48
	計		76		47			25	152	85	22	26		433
減 額・ 身 障 者・ 免 除・ 招 待	大 人	57	131	102	79	210	150	265	283	124	56	50	70	1,577
	学 生		5		1	13	2	15	62	6		4	3	111
	小 人		29	1	4	17	6	16	2	2	2	1	6	86
	料金変更							22	2					24
	計	57	165	103	84	240	158	318	349	132	58	55	79	1,798
合 計		179	464	266	314	400	290	589	664	291	126	143	197	3,923
1日平均		7	17	11	15	15	12	22	26	13	5	6	8	13
開館日数		26	27	25	21	27	25	27	26	23	24	24	26	301

◎前年度対比表

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	増 減	対 比
4月	2	179	177	対比対象外
5月	0	464	464	対比対象外
6月	213	266	53	124.9 %
7月	269	314	45	116.7 %
8月	406	400	△ 6	98.5 %
9月	611	290	△ 321	47.5 %
10月	796	589	△ 207	74.0 %
11月	666	664	△ 2	99.7 %
12月	151	291	140	192.7 %
1月	45	126	81	280.0 %
2月	111	143	32	128.8 %
3月	187	197	10	105.3 %
合 計	3,457	3,923	466	113.5 %

○概要

* 入館者数 : 3, 923人

* 入館収入 : 1, 939, 665円

○休館日

* 毎週水曜日

* 7月4日～7月10日まで

* 12月28日～1月3日まで

※管理規則に基づく休館

12. 決算報告

◎貸借対照表（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,241,713	3,863,355	2,378,358
未収入金	242,131	154,470	87,661
棚卸資産	2,849,728	3,040,668	△ 190,940
貯蔵品	27,969	37,382	△ 9,413
流動資産合計	9,361,541	7,095,875	2,265,666
2. 固定資産			
(1)基本財産			
建物（基）	720,258,196	747,052,588	△ 26,794,392
土地（基）	218,785,300	218,785,300	0
収蔵品	253,760,515	253,705,515	55,000
基本財産有価証券	330,000,000	200,000,000	130,000,000
基本財産定期預金	295,000,000	459,000,000	△ 164,000,000
基本財産合計	1,817,804,011	1,878,543,403	△ 60,739,392
(2)特定資産			
定期預金（資産取得資金）	4,700,000	9,000,000	△ 4,300,000
定期預金（退職給与引当金）	3,232,241	3,232,241	0
普通預金（友の会・事業募金）	13,000	0	13,000
特定資産合計	7,945,241	12,232,241	△ 4,287,000
(3)その他固定資産			
建物（運）	87,024	108,774	△ 21,750
什器備品	2,563,220	1,890,338	672,882
構築物	10,090,649	11,926,154	△ 1,835,505
機械装置	5,503,395	12,046,248	△ 6,542,853
収蔵品	11,014,589	10,912,589	102,000
土地（運）	59,879,650	59,879,650	0
電話加入権	738,510	738,510	0
運用財産定期預金	39,300,000	42,000,000	△ 2,700,000
その他固定資産合計	129,177,037	139,502,263	△ 10,325,226
固定資産合計	1,954,926,289	2,030,277,907	△ 75,351,618
資産合計	1,964,287,830	2,037,373,782	△ 73,085,952
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,579,929	1,834,737	△ 254,808
預り金	429,548	437,341	△ 7,793
賞与引当金	1,338,948	1,418,707	△ 79,759
流動負債合計	3,348,425	3,690,785	△ 342,360
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,232,241	3,232,241	0
固定負債合計	3,232,241	3,232,241	0
負債合計	6,580,666	6,923,026	△ 342,360
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	5,201,500	4,796,500	405,000
寄附金	77,000	220,000	△ 143,000
募金	425,000	185,000	240,000
指定正味財産合計	5,703,500	5,201,500	502,000
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	(5,703,500)	(5,201,500)	502,000
2. 一般正味財産	1,952,003,664	2,025,249,256	△ 73,245,592
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	(4,700,000)	(9,000,000)	△ 4,300,000
正味財産合計	1,957,707,164	2,030,450,756	△ 72,743,592
負債及び正味財産合計	1,964,287,830	2,037,373,782	△ 73,085,952

※資料／ 1. 新規資料一覧 2. 新規図書一覧

1. 新規資料一覧（基本財産収蔵品）

作 者	資 料 内 容	材質・技法	形 状	員 数
○原稿				
斎藤茂吉	原稿	ペン	原稿用紙1枚	1
結城哀草果	「森山汀川先生」	ペン	原稿用紙7枚	1
藤澤古実	「深秋信濃行(昭和二年十一月中旬)」[諏訪高木の丘]	墨書・ペン	原稿用紙2枚	1
島木赤彦	大正十年六月二十八日 諏訪湖畔柿蔭書屋にて	墨書・ペン	原稿用紙7枚	1
土屋文明	前月歌界	墨書・ペン	原稿用紙5枚	1
島木赤彦	「万葉集巻第一」(大正九年九月口稿)	墨書	原稿用紙22枚	1
中村憲吉	「九月十九日冷雨ふる」「晩秋雑詠」「石井翁を悼む」	ペン	原稿用紙2枚	1
岡 麓	「比牟呂」に	墨書	原稿用紙2枚	1
岡 麓	十一月のなかば葛温泉にて「ふかやまに住めらむひともいでゆあみて」	墨書	和紙1枚	1
岡 麓	「序」(大正十年十月一日 岡麓)	墨書	原稿用紙2枚	1
○書簡				
斎藤茂吉・前田徳八郎	前田徳八郎宛(年月日不詳)	墨書・鉛筆	葉書	1
斎藤茂吉・前田徳八郎	前田徳八郎宛 10年5月26日(年不詳)	墨書・赤鉛筆・万年筆	封書	1
斎藤茂吉(代筆)	前田徳八郎宛 昭和2年3月21日(消印昭2. 3. 23)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭2. 12. 16)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛 昭和4年6月17日(消印同日)	墨書	封書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭5. 7. 18)	墨書	封書	1
斎藤茂吉・山口隆一	前田徳八郎宛 昭和6年12月6日	朱墨・万年筆・墨書・鉛筆/墨書	封書・葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭7. 2. 22)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭7. 6. 23)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛 昭和7年11月2日(消印同日)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭8. 12. 20)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭14. 11. 24)	万年筆	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭15. 3. 11)	万年筆・墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭17. . 21)(月不詳)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭17. 11. 7)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉・前田徳八郎	前田徳八郎宛(消印昭18. 2. 23)	墨書・万年筆・赤鉛筆	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭18. 9. 18)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉・前田徳八郎	前田徳八郎宛(消印昭19. 1. 9)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 2. 10)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 3. 5)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 3. 11)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 3. 13)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 3. 13)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛 昭和19年4月1日(消印同日)	墨書	封書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 4. 21/推定)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛(消印昭19. 5.)(日不詳)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	前田徳八郎宛 昭和19年6月14日	墨書	葉書	1
島崎藤村	斎藤茂吉宛(年不詳)5月15日	ペン	封筒・原稿用紙	1
山根 浩	前田徳八郎宛 昭和18年2月21日(消昭18. 2. 22)	ペン	葉書	1
山口茂吉	前田徳八郎宛 昭和19年8月2日	ペン	葉書	1
○絵図				
布施哲太郎	「茂吉の古郷」	油彩・画布	額装	1
平福百穂	「白鷺」	木版画	捲り	1
○歌碑拓本／その他				
島木赤彦・斎藤茂吉	水海之冰者等計而尚寒志三日月乃影 波爾映呂布 赤彦詠 茂吉書	拓本	捲り	1
伊藤左千夫・島木赤彦	寂志左乃極尔堪亘天地丹寄寸留命乎 都久都九止思布 左千夫詠 赤彦書	拓本	捲り3枚	1
島木赤彦	高槻の木末にありて頬白のさへつる 春となりけるかも	拓本	捲り	1
長塚 節・岡 麓	うれしくもわけこしものか遥々に松 虫草のさきつづく山 節詠 麓書	拓本	捲り2枚	1
斎藤宗吉旧蔵	斎藤輝子／帯	絹・金糸	帯	1

2. 新規図書一覧

著者・編者	図 書 名	著者・編者	図 書 名
沖 荒生	歌集 コロナ禍の記憶	馬場 あき子	馬場あき子全歌集
脇中 範中	歌集 水の切先	大方 澄子	歌集 門燈
箕浦 勤	歌集 酒匂川越ゆ	日高 堯子	歌集 水衣集
志垣 澄幸	歌集 鳥語降る	荒井 進	戦後の婦人歌壇を築いた詩の少女 金子でいの生涯 白紙、茂吉、林村繁との出会い
林 宏匡	歌文集 平成余塵	北 杜夫	憂行日記
なみの 亜子	歌集 そこらじゅう空	秋元 千恵子	秋元千恵子作品集 生かされて 風花
松崎 英司	歌集 影もめだか	秋元 貞雄	秋元貞雄作品集 落日の罪-青春の苦悩と叛骨-
村田 泰子	歌集 指月の風	實藤 恒子	氷上の舞
遠役 らく子	歌集 卒寿	安藤 チヨ	歌集 遺されて
後藤 進	歌集 地球のどこか	岡野 治代	歌集 雲の上の空
藤田 和平	歌集 和風	平塚 宗臣	古都鎌倉 短歌を携えて巡る鎌倉の神社・仏閣
林 和清	歌集 朱雀の聲	真中 朋久	真中朋久歌集
浅野 真智子	歌集 風に沿ふ	小島 熱子	小島熱子歌集
佐々木 亮	歌集 希望	河路 由佳	河路由佳歌集
小栗 童魚(章正)	歌集 希望	竹中 優子	歌集 輪をつくる
安倍 まゆみ	合同歌集 川波撰集 第五	足利短歌会	歌集 あしかが 第三十八集
波濤ざおう	令和二年年刊歌集	近藤 芳仙	歌集 茅花
川本 千栄	歌集 森へ行った日	大津 仁昭	歌集 天使の課題
水野 信子	歌集 五百夜	櫻井 貞代	歌集 冬枯れのまんなかで
宮城県歌人協会	宮城県歌人協会創立七十年記念合同歌集 あをばの杜	高橋 良	斎藤茂吉からの系譜
天童短歌会年刊歌集編集委員会	年刊歌集 第五十七集	鮫島 満	近現代短歌語誌
田代 弥生	歌集 宇宙樹	足立 晶子	歌集 はれひめ
宇野 一夫	歌集 命あること	吉濱 みち子	歌集 愉英雨
門間 徹子	歌集 石榴の花	王生 令子	歌集 夕暮れの臉
滑志田 隆	道祖神の口笛	細川 光洋	吉井勇の旅靴 -昭和初年の歌行脚ノート-
池田 和彦	歌集 疫の時代に	兵庫県歌人クラブ	年刊歌集(第61集)
関根 文範	歌集 小石を蹴飛ばしつつも	森谷 勝子	歌集 青き薔薇
山形県歌人クラブ年刊歌集編集委員会	年刊歌集 第三十九集 二〇二一年度版	小林 功	歌集 命を生きる
丸山 三枝子	丸山三枝子歌集	藤田 直樹	歌集 Geometry
稲京短歌会	うた織り 第六集	横山 岩男	歌集 うたの歳月
三原 由起子	新装版歌集 ふるさとは赤	伊勢 方信	歌集 零時まへ
大谷 恵美子	歌集 沙羅の花	辻桂子・鷹志かれん	歌集 DUET
島田 暉	歌集 戦あらずな	三木 郁	歌集 海峡
橋本 善典	歌集 聖木立以後	辻桂子・鷹志かれん	変奏曲を編む
塔短歌会・東北	3666日目東日本大震災から十年を詠む	古谷 智子	歌集 ベイビーズ・プレス
高崎 淳子	歌集 あらざらむ	岡野 弘彦	岡野弘彦全歌集
加藤 治郎	岡井隆と現代短歌	奥田 亡羊	歌集 花
小島 ゆかり	歌集 雪麻呂	間瀬 敬	茂吉を新しく読む
歌と観照社	創刊90周年記念 歌と観照合同歌集	上妻 朱美	歌集 始良
清田 せい	歌集 鍵をもつ	都甲 真紗子	歌集 冬薔
松尾 祥子	歌集 楯円軌道	八重嶋 みね	歌集 土の香
坂井 修一	森鷗外の百首	俳人協会	俳人協会六十年史
坂井 修一	蘇る短歌 一大好きうた、ちょっと苦手うた	俳人協会	声のアルバム 歴代会長講演録より
伊澤 昭子	歌集 広重の雨	俳人協会	俳人協会所蔵名品集 -近代俳諧の潮流-
坂井 修一	世界を読み、歌を詠む	俳人協会	俳人協会所蔵名品集 -近現代俳句の歩み-
岡田 恭子	歌集 春よ来い	俳人協会	俳人協会賞作品集[第三集]
京都歌人協会委員会	年刊歌集 第六十七集	俳人協会	ふるさとの情景
春日 真木子	歌集 ようこそ明日	岡部 史	歌集 海の琥珀
恒成 美代子	歌集 而して	清水 麻利子	歌集 夕映えのキャンパス
永田 吉文	歌集 実朝の風	高山 鉄男	歌集 これよりは秋
三枝 昂之	登音を聴く 近代短歌の水脈	結城 千賀子	結城千賀子歌集
松村 正直	踊り場からの眺め 短歌時評集2011-2021	関谷 啓子	関谷啓子歌集
狩集 祥子	歌集 秋桜	楠田 立身	楠田立身歌集
西巻 真	歌集 ダズビダーニャ	大森 智子	歌集 あべまきの林からⅡ
有ヶ谷 貴枝	歌集 銭太鼓	依光 ゆかり	歌集 天空林道
太田 行蔵	四斗樽 圧縮版	柳村 知子	歌集 雪と花火と火焰土器
野の花短歌会	合同歌集 野の花(二)	秋田県歌人懇話会	令和三年度 年刊歌集
水野 治恵	歌集 風	佐藤 祐禎	歌集 再び還らず
玉城 洋子	歌集 儒艮	久山 倫代	歌集 舟を呼ぶ
永田 きみ子	歌集 木霊の声	桜井 園子	歌集 水中鳥居
立花 開	歌集 ひかりを渡る舟	後藤 多須子	歌集 一葦の水

2021(令和3)年度
斎藤茂吉記念館年報
— 通巻第37号 —
[2021/4~2022/3]

2022(令和4)年12月15日発行

編集
発行



公益財団法人
斎藤茂吉記念館

〒999-3101 山形県上山市北町字弁天1421
tel.023-672-7227[代]
fax.023-672-2626

印刷 株式会社 上山印刷
製本 山形県上山市矢来1-5-32
